

2018年度 早稲田大学大学院教育学研究科
高度教職実践専攻入学試験
(特別選考入試(前期日程):小論文)

問 題 用 紙

注 意 事 項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。
なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

小論文注意

1. 解答は横書きとし、楷書で左から右へ書くこと。
2. 句読点、記号等、および改行のために生じる余白もすべて字数に含む。また、解答用紙の字数を超えて解答してはいけない。
3. 本文中に自分の氏名を書かないこと。
4. 小論文解答用紙は汚したり、折りまげたり、破ったりしないこと。
5. 下書きは、別に配付の下書用紙を使用すること。試験終了後、下書用紙は持ち帰ること。

以下の論題について、1200字程度（1100字～1300字）で解答して下さい。

論題

東京都では、携帯電話やスマートフォンなどの普及によりいじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、SNSを利用する際のルール、「SNS東京ルール」を2015（平成27）年に策定し、各学校や各家庭でのルールづくりをするように呼びかけています。

平成28年版『子供・若者白書』（内閣府）に掲載されている「青少年のインターネットの利用時間（平日1日当たり）」によると、インターネットの平均的な利用時間は小学生（84.8分）、中学生（127.3分）、高校生（192.4分）であり、2時間以上インターネットを使っている割合は、小学生（27.2%）、中学生（46.1%）、高校生（70.3%）であった。

この調査結果を踏まえながら、あなたの所属する校種についての課題は何だと考えますか。また、自校で「SNS学校ルール」を作成する際の課題と具体的な指導方法について、あなたの関わりにも触れながら述べなさい。

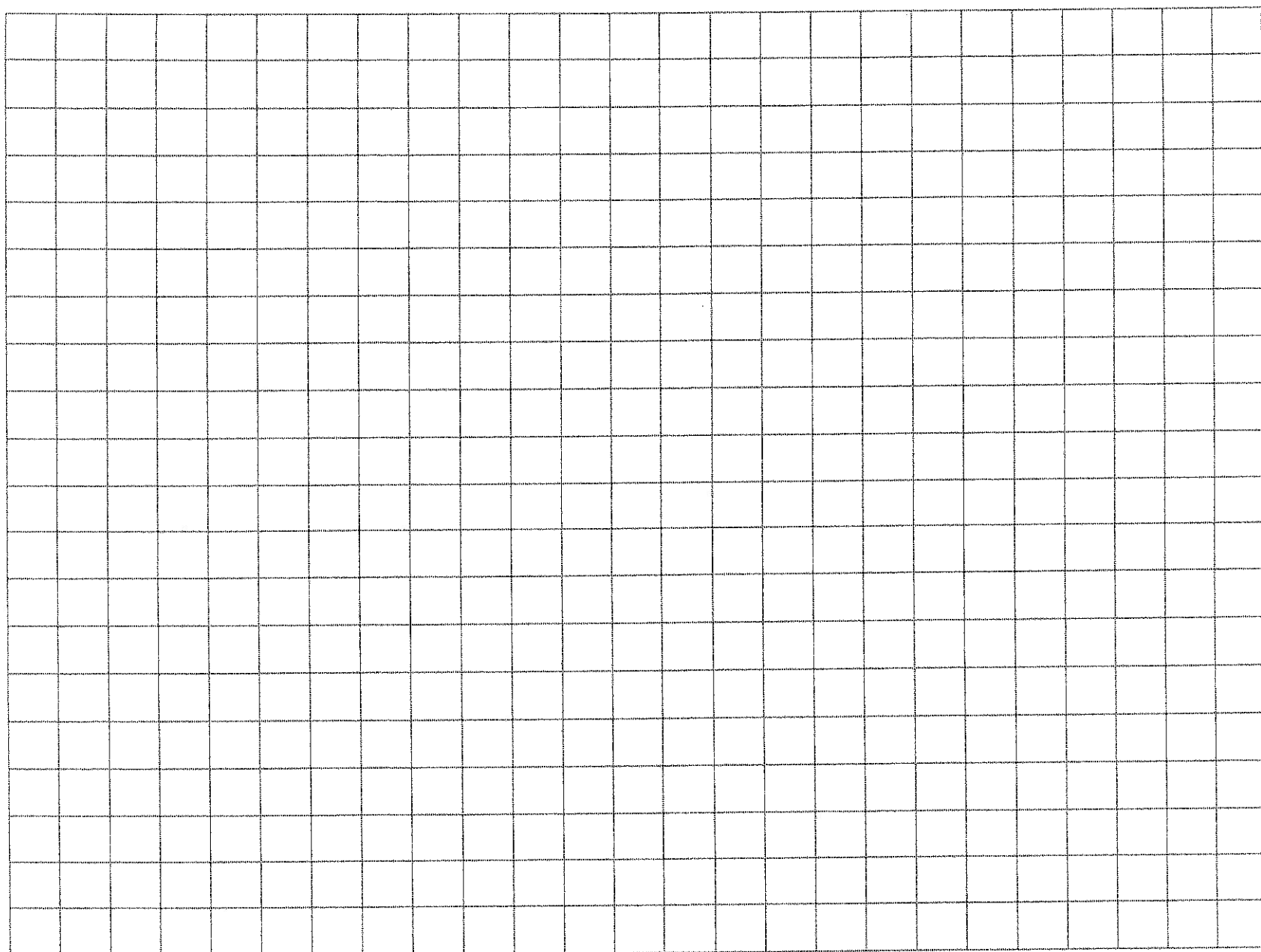
（注） ここで言う「自校」とは、現任校もしくは直近の勤務校を指しています（特別支援学校の場合には、校種は担当する学部を読み替えること）。

2018年度 早稲田大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻入学試験
(特別選考入試：小論文 解答用紙)

受験番号					
氏名					

大学記入欄 1	大学記入欄 2	大学記入欄 3	大学記入欄 4

This image shows a full page of blank graph paper. The grid consists of small, equal-sized squares formed by thin black lines. There are 20 columns and 20 rows of squares, creating a total of 400 square units. The lines are evenly spaced and extend across the entire area of the page, leaving no margins or other markings.



◀ 1100 字

◀ 1200 字

◀ 1300 字